

駿河大橋塗装工事について

国道1号 静岡市葵区南安倍に架設されている駿河大橋において塗装工事が完了いたしました。

塗装は、適切な塗替えを行うことにより、防食機能及び美観を維持、あるいは向上させることができます。

駿河大橋は、前回の塗装から26年経過し、防食機能が著しく低下した状態であり、各所で錆やはがれ、チョーキング^{*1}がみられる状況でありました。

今回の工事では、地域の景色との調和を考慮しつつ、頭上の重量感や圧迫感、煩雑な印象を軽減するため、汚れや退色が目立たない範囲で清潔感のある明るめの色彩とし、日本の伝統色^{*2}から浅縹^{あさはなだ}に近似している色にて施工いたしました。

また、従来使用してきた塗料から、約3倍長寿命な「ふっ素樹脂塗料」に変更し、LCC（ライフサイクルコスト）の低減をしています。

施工前



施工後



※1 チョーキング

日本語では白亜化(はくあか)とも言います。

チョーキングは塗膜の表面が粉化して次第に消耗していく現象で、塗膜の変退色と密接な関係にあります。

※2 日本の伝統色

我が国の気候風土や生活感覚に融和する色彩。東京スカイツリーでも採用（藍白、^{あいじろ}雅、^{みやび}粋）されている。また、^{いいき}縹は藍染めの色をいう古い色名であり、^{あさはなだ}浅縹は藍を淡く染めた色彩です。